

## 第4回「道徳のまち笠松」のつどいを開催

講演 『人と人 心と心の ふれあうまちの魅力』

女優 中野良子さん

「道徳のまち笠松」のつどいが2月19日に中央公民館で開催され、約350人が参加しました。

第1部では、道徳のまち笠松推進会議委員と笠松中学校生徒代表が、心をはぐくむ取り組みを紹介しました。

“あいさつのまち部会”の福田恵さんは「心を込めたあいさつにより、互いの心をつなぐ取り組みにしましょう」と訴えました。次に、笠中学生会代表の平川健介君は、小学生が通う通学路でのあいさつ運動を紹介し、「町民の皆さんも一緒にあいさつをしましょう」と協力を呼びかけました。

“きれいなまち部会”の山田和朗さんは、「拾っても拾っても繰り返されるポイ捨てゴミですが、放置すればいっそう増えます。みんなでゴミを拾い、のぼりを立てて呼びかけ、粘り強く笠松の心を示しましょう」と語りかけました。



通学路でのあいさつ運動を紹介する 平川健介君



さわやかな笑顔でお話される 中野良子さん

### 道徳のまち 笠松



“ささえ合うまち部会”の葛谷昌彦さんは「ボランティア活動へのちょっとした協力や身近な町内で一緒に取り組むことが人の心をつなぎ、ささえ合う関係を深める」と話されました。

最後に、宮崎太会長は「どの活動にも一人ひとりの心を大切にし、みんなで取り組みましょう」と呼びかけました。

第2部では、女優の中野良子さんの講演がありました。中野さんは、出演された映画が中国で上映されたことをきっかけに、国が違えば考え方や心のあり方も違うことを痛感され、この違いを交流し合うことにより、豊かな文化や社会の創造につなげたいと国際文化交流にも取り組んでこられました。

講演の中で「どんなに食べ物や水が満たされても“心”が満たされなければ、人は生きられない。“心”が体から離れていれば、心つながりも人のつながりも生まれない」と身近な事例を取り上げ、歌や演技を交えて話されました。

参加者からは「日々の心を大切にする生活を具体的に考えることができた」「“あいさつ”“ゴミ拾い”“ささえ合い”に取り組むわが町を誇りに思い、私も心を大切にしたい」などの声が寄せられました。